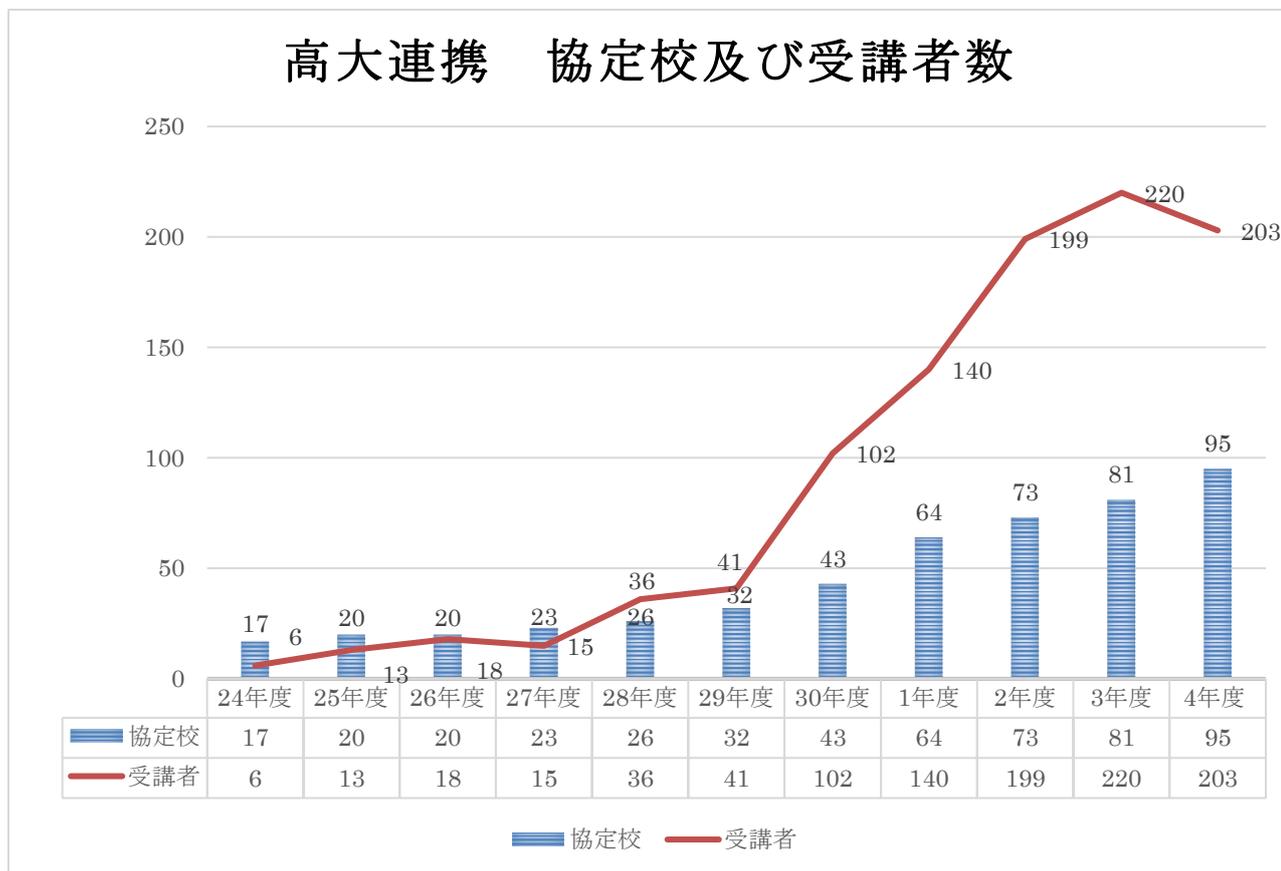


高大連携講座

参加者意識及び受験動向調査について
(経年比較 2019年度～2022年度)

高大連携 協定校及び受講者数



群馬医療福祉大学・短期大学部は、「地域に開かれた大学」を目指した取り組みの一つとして、地域の高等学校との連携を進めています。

高校生が、本学の実施する高大連携授業科目を履修することにより、医療・福祉等に関する内容を理解することができ進路の選択に役立つこと、高等学校生活の充実及び学習意欲の一層の向上に寄与することを目的として実施しています。

なお、高大連携授業により修得した単位は、入学した場合に、本学の全学部で修得した単位として認定をしております。

授業の内容は、「医療福祉教育の基礎」をテーマとし、社会福祉、教育（幼小中高特別支援）、医療、リハビリ、介護等の分野の基本的なことがらを関連づけて学びこれらの理解を深めるものとなっています。

地域の高等学校と大学が連携することにより、大学での講義や実習が受講可能となることから、高校生の学習機会を拡大し、さらには高等学校における多様な教育課程の編成にもつながり、高等学校の教育活動充実に資することもできると考えています。

高等学校との連携と支援の充実を目指し、教育研究面で一層の地域貢献、高大連携ができるように努めてまいります。

※平成24年度から協定校17校、受講者6名 科目「ソーシャルワーク入門」として社会福祉学部及び短期大学部にて連携講座がスタートしました。28年度より科目を「医療福祉教育の基礎」に変更し看護学部、リハビリテーション学部でも受講が可能となりました。平成30年度より高大接続改革による学力の3要素を測る入試の取組みとして高大連携型AO入試を設定、令和3年度より医療技術学部の開設に伴い臨床検査学専攻、臨床工学専攻の講義が追加となりました。

高大連携授業 アンケート調査報告書 2019年度～2022年度比較

群馬医療福祉大学 IR室

2019年度

- 〈実施日時〉 令和元年（2019年）8月5日（月）～8月8日（木）
〈会場〉 群馬医療福祉大学 3キャンパス（8/5、8/8 前橋、8/6 藤岡、8/7 本町）

2020年度

- 〈実施日時〉 令和2年（2020年）8月5日（水）～8月21日（金）
コロナウィルス感染防止のため YOUTUBE による映像配信にて実施

2021年度

- 〈実施日時〉 令和3年（2021年）8月2日（月）～8月5日（木）
群馬医療福祉大学 3キャンパス（8/2、8/5 前橋、8/3 藤岡、8/4 本町）
コロナウィルス感染防止のため YOUTUBE による映像配信も同時に実施

2022年度

- 〈実施日時〉 令和4年（2022年）8月1日（月）～8月5日（金）
群馬医療福祉大学 3キャンパス（8/1、8/4、8/5 前橋、8/2 藤岡、8/3 本町）
コロナウィルス感染防止のため YOUTUBE による映像配信も同時に実施

1 参加者について

（1）参加者総数 ※アンケート回収数ではなく、参加者総数（一部欠席の者もカウント）

	高校生	在学生	合計
2019年度	140	28	168
2020年度	199	3	202
2021年度	220	10	230
2022年度	203	4	207
前年度比	-17	-6	-23

《分析》

① 高校生参加者が3年間で約1.57倍に大幅増加

- 参加者は年々増加傾向。2018年度から導入された「総合型選抜高大連携型(旧 A0)入試」の導入が大きな要因とみられる。さらに高大連携型入試の合格状況も参加者の増加を加速した。コロナの影響もあり2020年度からは例年までのように5日連続で大学へ足を運び講座に参加しなくても YOUTUBE による映像配信講座により受講できるため、県外の高校生が受講しやすくなったことも一因と考えられる。
- 2020年度参加者の希望別内訳は社会福祉専攻 15% 子ども専攻 6% 看護学部 39% 理学療法専攻 21% 作業療法専攻 8% 医療福祉学科 7% その他 4%となっている。
- 2021年度 参加者の希望別内訳は社会福祉専攻 13% 子ども専攻 4% 看護学部 30% 理学療法専攻 21% 作業療法専攻 11% 臨床検査学専攻 10% 臨床工学専攻 6% 医療福祉学科 3%となっている。

・2022年度 参加者の希望別内訳は社会福祉専攻 11% 子ども専攻 6% 看護学部 36% 理学療法専攻 21% 作業療法専攻 7% 臨床検査学専攻 8% 臨床工学専攻 7% 医療福祉学科 3%となっている。

2 アンケートについて

(1) アンケート概要

1) アンケート回収数

	高校生	回答者数	回収率
2019年度	140	140	100%
2020年度	199	88	44%
2021年度	220	205	94%
2022年度	206	194	94.2%

※2020年度のアンケート回収はWEB上での回答のため回収率が低下

全8問で構成 ※アンケート用紙は、付録1を参照

《質問のねらい》

- Q 1 参加動機（複数回答）
- Q 2、3 運営・進行面
- Q 4、5 授業自体の理解・満足度
- Q 6、7 参加の満足度・入学希望の度合い
- Q 8 参加の満足度が高い授業の選択（上位3つまで）

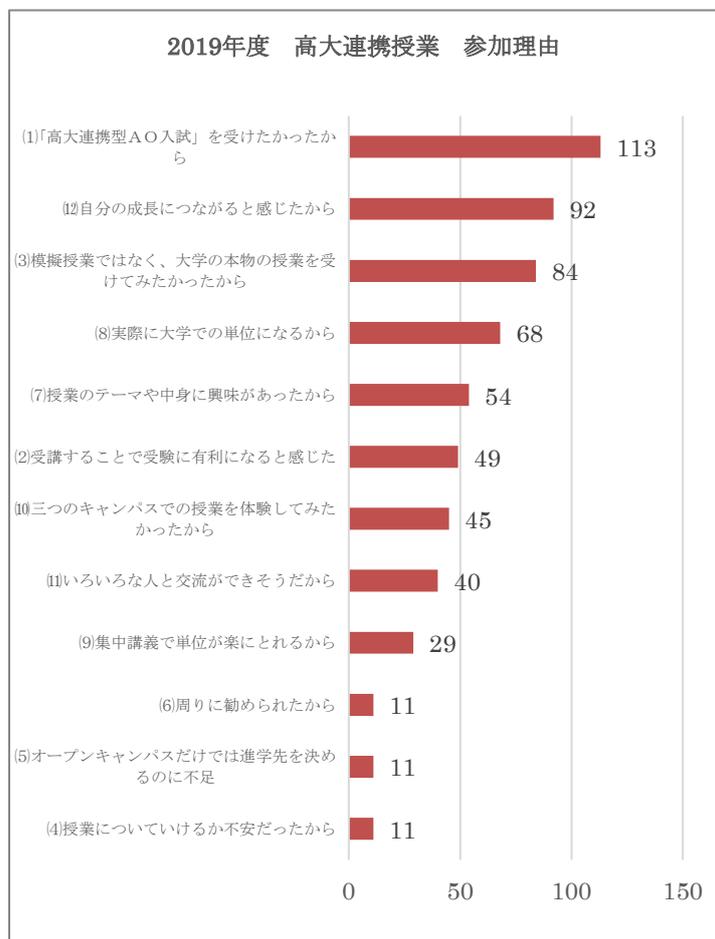
2) アンケート項目別分析

Q. 1 本学の高大連携授業に参加しようと思ったきっかけについて、当てはまるものの記号に○をつけてください

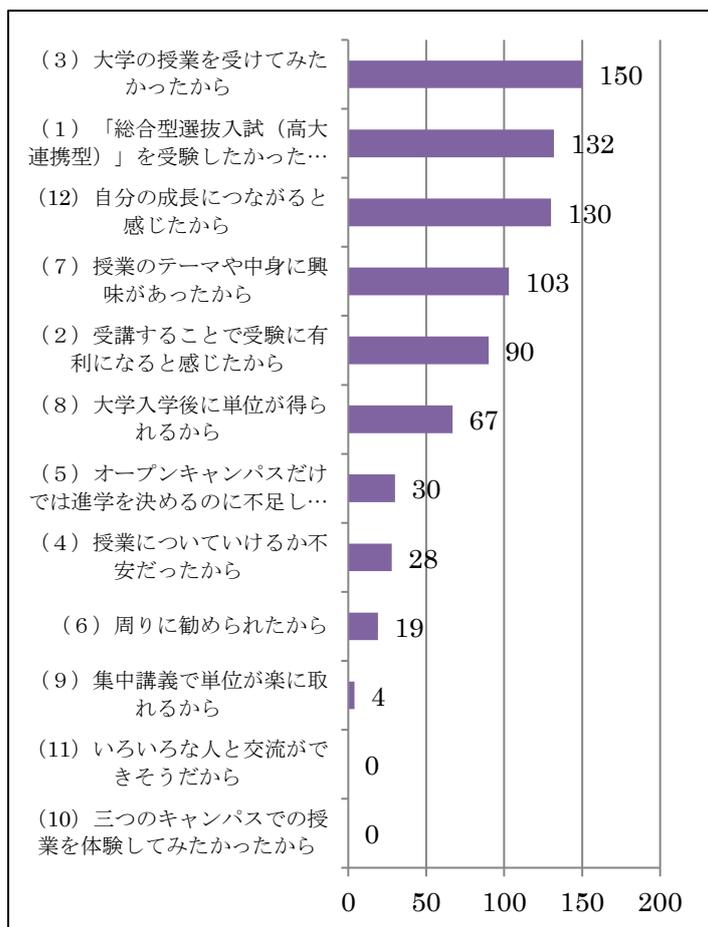
(複数回答可)

参加動機理由	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	選択率（高校生 140名の選択率）	選択率（高校生 88名の選択率）	選択率（高校生 199名の選択率）	選択率（高校生 194名の選択率）
(1)「総合型選抜授業体験型」を受けたかったから	80.7%	55.7%	66.3%	69.1%
(2)受講することで受験に有利になると感じた	35.0%	47.7%	45.2%	42.8%
(3)模擬授業ではなく、大学の本物の授業を付けてみたかったから	60.0%	61.4%	75.4%	77.3%
(4)授業についていけるか不安だったから	7.9%	13.6%	14.1%	10.8%
(5)オープンキャンパスだけでは進学先を決めるのに不足	7.9%	13.6%	15.1%	15.5%
(6)周りに勧められたから	7.9%	14.8%	9.5%	11.9%
(7)授業のテーマや中身に興味があったから	38.6%	56.8%	51.8%	52.6%
(8)実際に大学での単位になるから	48.6%	45.5%	33.7%	36.6%

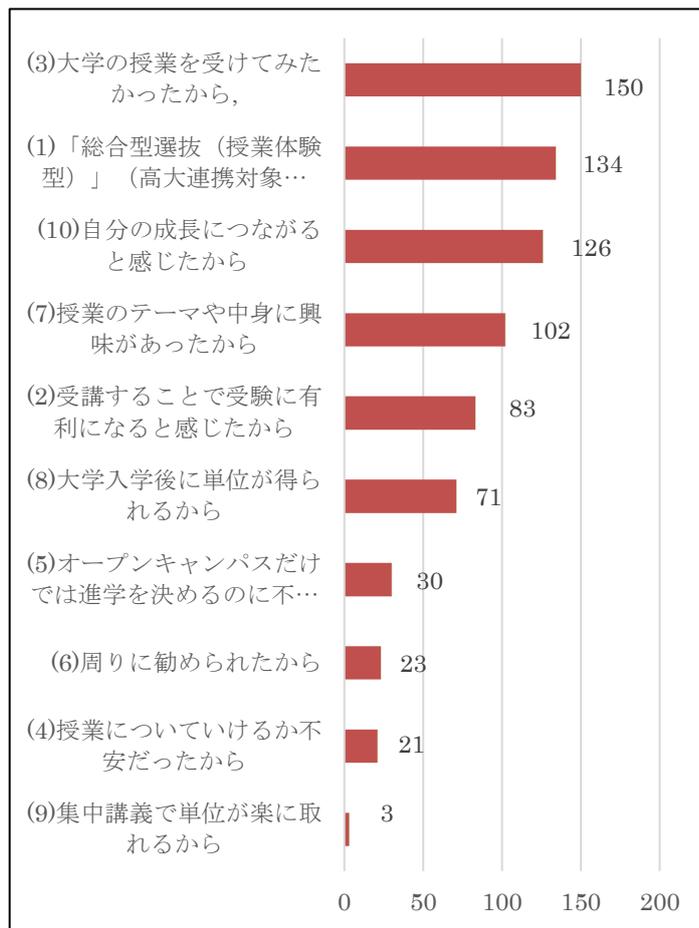
(9)集中講義で単位が楽にとれるから	20.7%	2.3%	2.0%	1.5%
(10)三つのキャンパスでの授業を体験してみたかったから	32.1%	8.0%	-	-
(11)いろいろな人と交流ができそうだから	28.6%	21.6%	-	-
(12)自分の成長につながると感じたから	65.7%	64.8%	65.3%	64.9%



2021年度 高大連携授業 参加理由



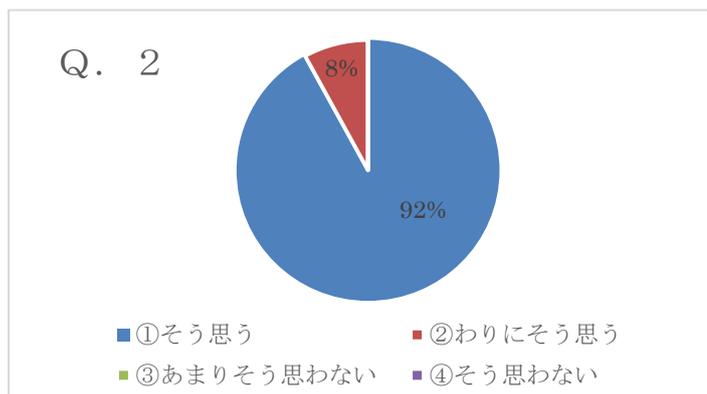
2022年度 高大連携授業 参加理由



《分析》

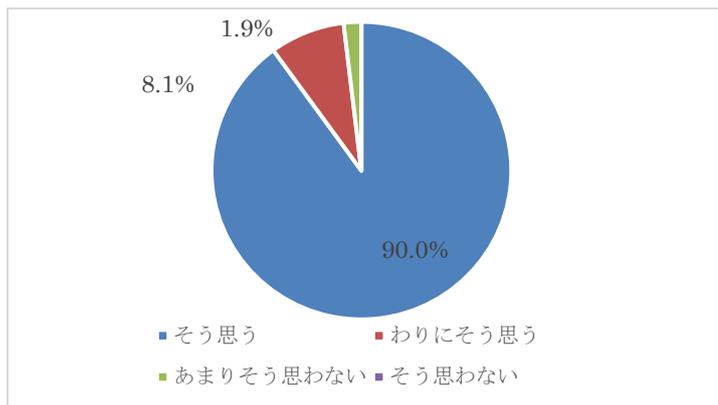
- ・2020年度は「総合型選抜高大連携型」の受験を前提とした参加が55.7%で2019年度比較すると減少したが、2021年以降は66.3%まで上昇した。コロナ禍、大学入試改革の初年度、さらに本学の高大連携型選抜における基礎学力試験導入初年度と重なったことにより高大連携型選抜の受験を敬遠した受講生がいたと考えられる。
- ・2022年度では「授業のテーマや中身に興味があったから（52.6%）」「大学の本物の授業を受けてみたかった（77.3%）」と回答した受講生の割合が引き続き多く、オープンキャンパスで提供される模擬授業だけでなく、本講座を受講し、入学後に提供される授業内容を確認してから入学したいという意欲ある受験生が増えている。さらに自分の成長につながる（64.9%）」という期待が、大きな参加理由となっている。

Q. 2 2020年度 感染リスク回避のため、YOUTUBE で授業を配信したことはよかったと思いますか。



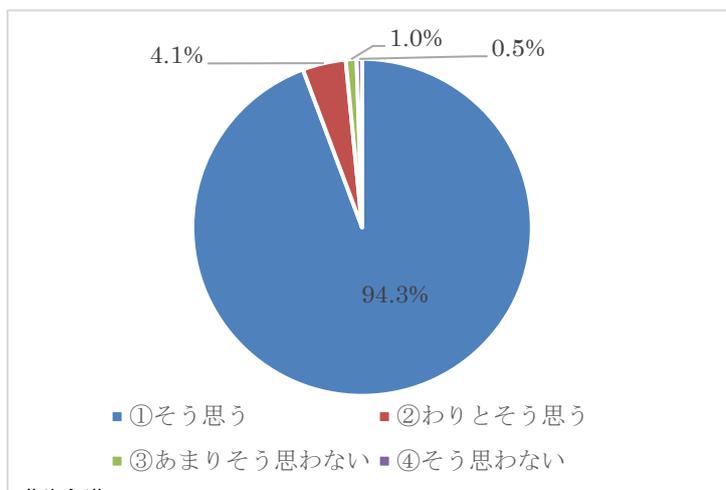
※高校生のみ	人数	割合
④そう思う	81	92%
③わりにそう思う	7	8%
②あまりそう思わない	0	0%
①そう思わない	0	0%
無回答	0	0%
合計	88	100.0%

2021年度 受講方法をA.B.C 3つの方法の選択制にしたことは適切だったと思いますか。



※高校生のみ	人数	割合
④そう思う	189	90%
③わりにそう思う	17	8.1%
②あまりそう思わない	4	1.9%
①そう思わない	0	0%
無回答	0	0%
合計	210	100.0%

2022年度 受講方法をA.B.C 3つの方法の選択制にしたことは適切だったと思いますか。



※高校生のみ	人数	割合
①そう思う	183	94.3%
②わりとそう思う	8	4.1%
③あまりそう思わない	2	1.0%
④そう思わない	1	0.5%
合計	194	100.0%

《分析》

・2020年度はYOUTUBE配信のみであったが、参加者の92%が良かったと思う、8%がわりに良かったと思うと回答しており、十分な満足が得られている。2021.2022年度は1. 全て対面、2. YOUTUBE配信、3. 対面とYOUTUBE配信の選択の3つのパターンを用意した。選択制にしたことは適切であったかの問いに参加者の90%以上がそう思うと回答しており、こちらも十分な満足が得られている。

Q.4 全体的に、授業はわかりやすかったですか。

	2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
④そう思う	109	77.9%	72	81.8%	157	78.9%	160	82.5%
③わりにそう思う	29	20.7%	15	17.0%	42	21.1%	34	17.5%
②あまりそう思わない	1	0.7%	1	1.1%	0	0%	0	0%
①そう思わない	0	0.0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	1	0.7%	-	-	-	-	-	-
合計	140	100.0%	88	100%	199	100%	194	100%

《分析》

・授業については、上記表のとおり受講者のほとんどがわかりやすかったと回答。この面では授業内容のレベルや教授法は適切だといえる。

Q. 5 全体的に、授業から知的な刺激を受けることができましたか

	2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
④そう思う	130	92.9%	86	97.7%	173	86.9%	179	92.3%
③わりにそう思う	10	7.1%	2	2.3%	25	12.6%	15	7.7%
②あまりそう思わない	0	0.0%	0	0%	1	0.5%	0	0
①そう思わない	0	0.0%	0	0%	0	0%	0	0
無回答	1	0.7%	-	-	-	-	-	-
合計	140	100.0%	88	100%	199	100%	194	100%

《分析》

①知的な刺激を受けることができましたかの問いに対し2021年度は過去2年と比較しはじめて90%を割り、86.9%となった。医療技術学部の受講者も増えアカデミックな内容を求める層が増えたことも考えられる。しかしながら2022年度では高校生にもわかりやすく興味を引く内容に工夫、改善を図ったため92.3%まで増加した。

Q. 6 高大連携授業に参加してよかったと思いますか

	2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
④そう思う	136	97.1%	86	98%	192	96.5%	188	96.3%
③わりにそう思う	4	2.9%	2	2%	6	3.0%	6	3.7%
②あまりそう思わない	0	0.0%	0	0%	0	0%	0	0%
①そう思わない	0	0.0%	0	0%	1	0.5%	0	0%
無回答	0	0.7%	-	-	-	-	0	0%
合計	140	100.0%	88	100%	199	100%	194	100%

《分析》

① ほぼ100% 全員が参加してよかったという高い満足度であった。

Q. 7 本学に入学したい気持ちは高まりましたか

	2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
④そう思う	131	93.6%	69	78.4%	157	78.9%	163	84.0%

③わりにそう思う	9	6.4%	19	21.6%	41	20.6%	30	15.5%
②あまりそう思わない	0	0.0%	0	0%	0	0%	1	0.5%
①そう思わない	0	0.0%	0	0%	1	0.5%	0	
無回答	0	0.0%	-	-	-	-	-	-
合計	140	100.0%	88	100%	199	100%		

《分析》

①高校生参加者は、全員が入学への動機が高まったと回答しており、この面での授業の意義は高い。しかし2019年度の全面対面授業と比較すると「そう思う」と回答する受講生が93.6%から2020.2021年度は78%であった。2022年度は84%と増加したが、YOUTUBEによる映像配信授業と対面授業の併用であったことや大幅な受講生の増加により、授業の雰囲気を感じることや教員との関りや仲間づくりの希薄化、大学の施設設備を利用したの授業ができなかったため、入学に向けての強い気持ちが全面対面授業と実施時と比較すると減少したと考えられる。

Q.8 参加をして良かったと思う授業について、上位三つまでを選び、記号で答えて下さい（※高校生のみ）

2019年度

講座名	選択数	選択率 (114名全体の選択率)
⑤「高校生に看護職の魅力を伝える」	74	52.9%
⑧「ピア・カウンセリング入門」	52	37.1%
⑮「教師の専門性と指導技術」	42	30.0%
③「社会福祉の専門性とコミュニケーション」	33	23.6%
⑥「認知症高齢者の心をつかむコミュニケーション技法を学ぼう」	29	20.7%
⑦「健康な小児の成長発達」	28	20.0%

《分析》2019年度

- ① 30%以上の参加者に選択をされた科目は、看護（2）、教育（1）。4位の社会福祉の授業も含め、上位の科目はアイスブレイクの導入やグループでの活動、また先輩が参加をするなどのアクティブ・ラーニングの要素が取り入れられている。
- ② 作業療法、社会福祉、心理系科目などが低くなってしまったが、自由記述を見ると、「動かない授業」「一方的に聞く授業」になっていることが大きな要因と考えられる。今後も演習やグループワーク、探究的な内容など、動きや創造的な活動のある内容が求められる。
- ③ 医療系はある程度の選択率を保っているが、上位授業に比較すると、希望学科/コース外の参加者から選択されるように、アクティブな活動や多様な教材の提示など、工夫が求められる。
- ④ 昨年度と同様、参加者のうち多くは医療系志望だが、受講をしてよかった科目と希望学科やコースに強い関連があるというより、授業そのものの満足感が選択の決め手になっている。
- ⑤ 昨年度と同様、出願率と重ねると、授業の良しあしが出願に影響を与えることはない結論づけられる。

2020 年度

講座名	選択数	選択率
⑤「感染の伝播を防ぐ知識や技術を学ぶ」	32	36%
⑦「こころの健康-ストレスと対処方法-	29	33%
⑨「ひとの体と臨床における理学療法の役割①」	24	27%
⑥「在宅看護の役割を学ぼう！ 看護の工夫をしてみよう！」	22	25%
⑩「ひとの体と臨床における理学療法の役割②」	21	24%
⑮「先生の指導テクニックを学ぼう」	21	24%

《分析》2020 年度

※YOUTUBE 配信のためコメントなし。志願者に占める看護の割合が高いため当然といえる結果である

2021 年度未調査

2022 年度調査 興味関心の高かった授業の上位

⑯先生に求められる力	85	43.8%
⑦新生児期における看護	47	24.2%
⑨理学療法士の仕事と実際	43	22.2%
⑫高度医療と臨床工学技士の仕事	40	20.6%
⑤バイタルサインとは？	39	20.1%
④目のレンズから見える不思議な世界	37	19.1%

受講生からのコメント

- ①各先生の授業がとても分かりやすく、面白く、楽しかった。
- ②学校の雰囲気良く、ボランティアの学生さんや先生方が優しかった。
- ③オープンキャンパスでは見られなかった、他の学科や学部の内容が分かって他の学科等に、より興味・関心がわいた。
- ④高大連携授業に参加して、より強く本学に入学したい気持ちが強くなった。
- ⑤対面授業で実際の学校の校舎や機器類を見られて良かった。
- ⑥コロナで急な変更にも対応していただき、YouTube 授業での受講が出来て良かった。